



南

あわじ

6



市内で銅鐸7つが出土

どう たく



松帆地区の砂の中から銅鐸7つが出土しました。7つのうち、1つは菱環鈕式銅鐸(写真左)、残り6点は外縁付鈕式銅鐸(写真右)です。また銅鐸を鳴らすための青銅製の棒「舌」も一緒に出土しています。いずれも弥生時代前期末～中期に作られたもので、非常に保存状態が良く、当時の文化を知る上で貴重な資料として期待されています。(関連記事23頁)

市政ひろば	2~7
お知らせ	8~13
情報瓦ばん	14~15
まなびの扉	16~17
いきいき健康生活	18~19
心のかけはし	20~21
まちかどピックス	22~23
商品券発売、ゆめるん情報	24